平成３０年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

１ 実践テーマ	【　Ⅲ　】
２ 実施対象者	札幌市立藻岩小学校 第３学年　５６名
３ 展開の形式	（１） 学校における活動 ① 教科名（　総合的な学習の時間　） ② 行事名（　　　　　　　　） ③ その他（　　　　　　　　） （２） 地域における活動 ① イベント名（　　　　　　　　） ② その他　　（　　　　　　　　）
４ 目標 （ねらい）	自分を取り巻く福祉の問題について、主体的に考え、よりよい生活を目指し、解決する。 ・総合的な学習の時間で、高齢者や体の不自由な方との交流を通し、福祉について考える学習を行う。福祉の単元の学習の導入として、パラ選手との交流を通し、生き方や考え方を知る。パラ選手の「可能性に挑戦する勇気」に触れることで、「障がいとは何か」について考える。パラ選手との出会いをきっかけに、他者の考えと自分の考えを比べ、新たな考えや価値に気付く。
５ 取組内容	○指導計画【30 時間扱い】 総合的な学習の時間「支え合いで笑顔いっぱい」（30 時間扱い） ・オリンピック・パラリンピックとは何か（1/30） ・パラアスリート先生との交流（本時 2-3/30） ・オリンピックの世界を体験してみよう（疑似体験 4-5/30） ・調査活動・まとめ（6-8/30） ・挑戦することの素晴らしさや生きることの大切さやを実感できるような調査活動やまとめをする。（9-12/30） ・調べたことや伝えたいことを発表し、交流する。（13-15/30） ○取組の様子 ・高田朋枝選手との交流 「あすチャレスクール」での体験授業 高田選手にゴールボールを教えていただきたり、話を聞く中で、スポーツの楽しさや「挑戦」することの大切さを学んだ。「高田選手のようになりたい」と、諦めない心を手に入れた子どもたちでした。

	・オリンピックミュージアムでの体験活動 オリンピックミュージアムでは、興味や関心のあること、疑問に思っていることなど、一人一人のテーマに基づいて調べ、様々な冬のオリンピック競技を体験した。また、ミュージアムの山根先生から話を聞いたり質問したりする中で、一人一人の学びを深めた。 ・オリパラ発表会 「どんなことを伝えたいか」を中心に、情報を整理し、同じテーマのグループで協力して「オリパラ発表会」を行った。地域や保護者の方にも来ていただき、オリンピックやパラリンピックのこと、スポーツの楽しさや選手の方のチャレンジ精神の素晴らしさや感動など、様々な視点で発表した。
6　主な成果	・本物の選手との出会いや体験により、子どもの心が動かされ、学ぼうとしたり、自分を見つめ直したりするきっかけとなった。 ・初めての総合的な学習の時間の題材として、子どもの関心・意欲がより高まった。
7　実践において工夫した点	・オリンピックやパラリンピックがより自分たちにとって身近になるよう、知らないことが分かる喜びを感じることができるように、調査活動や体験活動を取り入れた。 ・「オリパラ発表会」をすることで、伝えたいことを吟味したり精査したりする活動ができた。
8　主な課題等	・子どもの興味や関心に沿う調査や体験ができる活動の機会をどのように設定するか。 ・パラリンピストの高田選手と出会い、学んだことや感じたことを、今後の学習でどのように生かすのか。
9　今後の取組について	地域にいるお年寄り、障がいのある方、おとなも、子どもも、様々な人との違いを認め合いながら、その人らしく毎日の生活を幸せに、そしてよりよい生き方で生活をしていけるようにすることが「福祉」の大切さであることを知る。また、いろいろな人の生き方や考え方を通し、自分の今の生き方を見つめ直したり、自分にできるちょっとしたことを考えたり、実行したりできる学習にしたい。